

## 白髪一雄

兵庫県尼崎市生まれ。昭和から平成にかけて活躍した洋画家。京都市立絵画専門学校(現・京都市立芸術大学)日本画科を卒業後、油画に転向する。1955年より具体美術協会の会員になり、第1回展から1972年に具体美術協会が解散するまで、国内外の具体美術協会展に参加した。ロープにぶら下がり、床に広げたキャンバスの上に盛られた絵の具を裸足で滑走して塗り広げる抽象絵画を描き、日本のアクション・ペインティングを代表する作家として有名になった。83歳で亡くなるまでこの手法を貫き、国内外の主要な美術展への出品を続けるなど精力的に活動した。近年海外を中心に評価が非常に高まっている。